



ファミリーコミュニケーションデイ企画

あいかわ 自然観察会② 終了報告

神奈川県立 愛川ふれあいの村 主催事業

6月3日（日）

照りつける日差しの中、主催事業『あいかわ自然観察会』を開催し、12名の参加者とともに村の生き物を発見、観察しました。今回のテーマは“カメムシ”です。



はじまりの会では、パズルで緊張をほぐすとともに、村で見ることができる生き物への期待感を高めます。ちなみにパズルの虫は図鑑の表紙を飾ったり、切手のデザインになったこともある“アカスジキンカメムシ”。管理棟横の紫色や青色のアジサイを見ながら最初の観察ポイントへ進みます。



キバラヘリカメムシ

オオトビサシガメ

カメムシはくさいというイメージがありますが、中にはいい匂いを出すものもいるのです。キバラヘリカメムシを発見したので、実際に匂いを確かめてみました。「すっぱいような…」と言う方がいましたが、青リンゴのような匂いがするとも言われています。学芸員からカメムシについて詳しい話を聞き、参加者は自然の不思議な魅力に引き込まれていきます。



次のポイントに進むと、「モンキチョウ!」、「ラミーカミキリだ!」と生き物の名前に詳しい小学生から声が上がります。ウラギンシジミが参加者の手にとまり、汗をストローのような口で吸っていました。あまりの暑さに蝶も熱中症対策ですかね。ここで蝶の羽の特徴ついて話を聞きました。



指をさす方向に背中へのマークが可愛い“エサキモンキツノカメムシ”がいました。テイカカズラの甘い花の匂いを嗅ぎ、上を見上げればタイサンボクの花が大きく開いています。



ヤマガラ

ジャゴケ

アイカワタケ

ヤマガラが「ピーピーピーッ!」と仲間を呼んでいる姿をかなり近くで観察することができました。今日はウラギンシジミが手にとまったり、ヤマガラが近くまで来てくれたりと生き物たちに恵まれた一日でした。テーマのカメムシもきれいなものやいいにおいものなど5種類発見することができ、「カメムシの見方が変わりました。」という参加者も。

最後はマツタケのような香りのするジャゴケの観察をし、いい匂いとはいえないクリの花が咲き誇る栗の木広場でおわりの会を行いました。おわりの会の直前に参加者の一人が黄色いキノコを見つけました。“アイカワタケ”というキノコで、みんなで触ってみました。解散してからも事務所にアカスジキンカメムシを持って見せてくれる参加者がいて、自然観察会を通して観察する力がついたのではないかと思います。カメムシを通して、生き物の不思議・自然の魅力を感じていただけたのではないのでしょうか。次回は7月1日(日)に行います。テーマはセミ(抜け殻)です。ぜひ、お越しください。

【文責：石川 写真：吉田・愛川ふれあいの村スタッフ】